

目次	・平成30年度の取り組みについて ……1	・地域医療研修を終えて(6月) ……5
	・新任のご挨拶 ……2	・新入職員紹介 ……6
	・新任のご挨拶 ……3	・新入職員紹介 ……7
	・地域医療研修を終えて(5月) ……4	・外来診療表 ……8

## 平成30年度の取り組みについて

病院長 豊永 哲至



平成30年度も既に3ヶ月過ぎました。新年度になると社会全体で多くの事が変わりますが、当院でも様々な変化がありました。以下に当院の診療に関する主な変更点を御紹介します。

### 1) 人事異動と外来診療の変更

糖尿病センター長として勤務しておられた田口哲也先生、腎臓内科医長の植田美紀先生、腎臓内科医師の入江亮輔先生が3月末に当院を退職されました。4月からは新しく、腎臓内科医長として石田秀太先生、腎臓内科医師として丸山功祐先生が赴任されました。外来診療に関しては、糖尿病・代謝・内分泌内科は、月曜と木曜は熊本大学糖尿病代謝内科よりの派遣医師、土曜日は私が担当することとなりましたが、水曜日に関しては総合内科で担当します。腎臓内科の外来担当には変更はありません。昨年度末からは、長年休止していました整形外科の外来診療が熊本大学整形外科からの派遣医師により金曜日に再開されています。その他、循環器科、消化器科、神経内科、放射線科の外来診療につきましては昨年度と変更はありません。

### 2) 医療機器・設備の更新・導入

医療機器に関しては、昨年11月に乳がん検査の最新機器のマンモグラフィーが、菊池市、菊池市議会、菊池郡市医師会の支援により導入されました。乳がん患者増の抑制に向け、早速、早期発見に役立っていますが受診者の方にも大変好評です。また、本年度はMRIについても最新の機種に更新する予定をたてています。検査時間の短縮と診断能の向上が期待されます。

### 3) 病院間ネットワークシステム

現在の専門化した医療では、急性期病院からかかりつけの診療所まで複数の医療機関を受診している方も多くおられます。個々の病院での検査データや情報をお互いに利用することが出来れば重複する検査も無くなり、何度も病状を説明する必要も無くなります。このため、「くまもとメディカルネットワーク」という情報共有システムを熊本県医師会が中心となり普及させています。当院も昨年3月からこのシステムに参加しました。最近ではテレビにも取り上げられましたので知っている方も徐々に増えているとおもいます。このシステムを利用するにはエントリーが必要ですので、興味のあるかたはスタッフまでお問合せください。

### 4) 健診部門

健診部門では、担当医師の変更がありました。また、4月より保健師が3名に増えました。健診で見つかった問題点を確実に改善していくために専門職によるお手伝いをしていきます。また、健診オプションについても充実して行く予定としています。

### 5) 医師卒後教育

医学部を卒業して最初の2年間は研修医として指導医のいる決められた病院で研修を積んでいきます。当院にも本年度から地域医療を学ぶために熊本大学と九州大学から研修医が来ることになりました。若い先生が外来や入院などで診療を行います。医療に対して情熱のある先生ばかりですので、温かく接して頂ければと思います。

本年度も病院の理念「かかりつけ医の先生方と連携して、地域の皆様に信頼され、愛される病院を目指します」の実現のために職員一同努力してまいりたいと思います。



## 新任のご挨拶

腎臓内科医長 石田 秀太



今年四月より済生会熊本病院から異動し、はや三ヶ月が過ぎようとしております。前回、五年前の2013年4月から二年間当院に勤務しておりましたので、ある程度は把握しているつもりでしたが、三年たつといろいろと変わっていることもあり、再度一から学びなおしているところです。赴任前の済生会熊本病院では主に急性期病院としての急性血液浄化療法や緊急透析、また一般外来や透析患者の手術やシャントPTAなどの業務にかかわってきました。特に手術や腹膜透析に関しては、それらの合併症を含めさまざまな症例を経験することができました。

当院に再赴任して思うことは、急性期と慢性期では業務が大きく異なることです。前病院では急性期がメインのため、ある程度転帰がはっきりしたところで自宅退院が難しければとりあえず転院の方針、そのための病院の選定をどうするかということに重点を置いていましたが、当院ではどのように自宅に帰すのか、そのためにはどのように段取りをつけていくのかが大きく異なる点であると考えています。

また、急性期病院では自身の専門領域をメインにみるものがほとんどですが、当院では一般的な内科疾患だけでなく骨折や脳卒中後のリハビリが必要な疾患も見ていかななくては行けませんので、専門外であっても今後はそれらについてももしっかり見ていけるように診療にあたりたいと考えております。

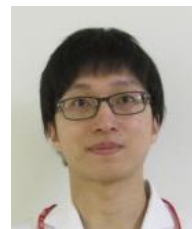
普段は透析室で外来血液透析患者を診ていることが多いのですが、月曜と火曜の午前中は健診業務にもかかわっております。最近CKD(慢性腎臓病)の概念が広く認識されるようになり、早期発見・早期治療により透析導入をできるだけ遅らせADLの低下を防ぐことが医療費の面からも要求されております。腎不全を有する方では心血管イベント(心疾患、脳卒中など)の合併症を発症する確率が優位に高くなると言われておりますので、健診で尿検査異常や腎機能低下を指摘されましたら早期に医療機関を受診していただきますようお願いいたします。

今後ともよろしくご挨拶申し上げます。



# 新任のご挨拶

腎臓内科 丸山 功祐



平成30年4月から腎臓内科として赴任することになりました、丸山功祐と申します。

私は熊本県熊本市の出身で、平成26年に島根大学医学部を卒業後、初期研修医として熊本で勤務しました。熊本中央病院での2年間の初期研修を終え、平成28年4月に熊本大学医学部附属病院腎臓内科に入局いたしました。その後、熊本大学医学部附属病院で勤務し、平成28年12月から再び熊本中央病院での勤務を経て、今年度より菊池郡市医師会立病院へ赴任いたしました。大学生生活の6年間は県外に出ておりましたが、菊池を含め生まれ育った熊本の医療に医師として携われることを大変嬉しく思っております。腎疾患だけでなく、頻度の高い内科的疾患の診療を行っていければと思っております。

現在日本では約1,330万人、成人の約8人に1人が慢性腎臓病(CKD:Chronic Kidney Disease)と推測されております。慢性腎臓病の発症や進行には、高血圧や糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病が強く関係しています。慢性腎臓病の初期は自覚症状がなく、ゆっくりと進行していきます。進行すると、浮腫や貧血、倦怠感、息切れなどの症状が現れ、さらに進行すると末期腎不全に至ります。また、慢性腎臓病は末期腎不全の危険因子だけでなく、脳卒中や心筋梗塞などの心血管疾患の強い危険因子でもあり、慢性腎臓病は腎臓だけの問題ではなく、全身

の血管系の問題として捉えることが必要となってきました。体調の変化に気をつけるだけでは早期発見は難しく、定期的に健康診断を受け、尿や血液の検査をすることが早期発見につながります。早期に治療を開始すれば、腎機能の低下を防いだり、遅らせたりすることが可能な場合があります。また、末期腎不全まで進行し、腎機能の回復が見込めない状態になった場合は、透析療法や腎移植といった腎代替療法があり、それぞれの患者さんに合った治療法を選択することになります。

現在の診療内容としましては、菊池郡市医師会立病院腎臓内科は一昨年から私を含めて3人体制となりました。当院では外来診療だけでなく、末期腎不全に対し透析療法を行っております。腎不全が進行し、透析療法が必要となられた患者様は、透析療法と一生の付き合いになりますので、透析室のスタッフと協力しながら快適な環境作りを心掛けたいと考えております。また、血液透析に必要な内シャント作製術(血管手術)や、長期的にシャントを使用するために狭窄や閉塞予防のための経皮的血管拡張術も行っております。

今後は、かかりつけ医の先生方と密接に連携し、患者様とのコミュニケーションを大切にし、菊池の皆様健康や菊池地域の医療に少しでも貢献できるよう頑張りますので、宜しくお願い致します。





## 地域医療研修を終えて（5月）

研修医 小田部 真美



初めまして。私、熊本大学医学部附属病院研修医2年目の小田部と申します。

この度2018年5月の1ヵ月間、地域医療研修として菊池郡市医師会立病院で研修をさせていただきました。まずはこの場をお借りして、受け入れてくださった豊永院長を始め、病院関係者の方々に心よりお礼申し上げます。

私は高校まで熊本で過ごしましたが、今回菊池市には初めて訪れました。1ヵ月という短い期間でしたが、医師会職員宿舎を借りて、空いた時間は散歩やサイクリングをして過ごし、美味しいものを食べ、とても充実した日々を送ることができました。ちょうど田植えの時期でもあり、のどかさや人の穏やかさに心癒され、菊池を訪れて本当によかったと思っています。

今回、恐れ多くも病院初の研修医ということで研修の前例がなかったため、私の興味のある分野や経験したい手技などの要望を研修内容に取り入れていただきました。欲張りに多くの要望をしたため、内容盛り沢山の日程となりましたが、日々学び得るものがあり大変有意義な研修でした。

研修内容に関しては、院内では基本的に、入院患者さんを診る病棟業務を担当しました。その他にも、外来で診察をしたり、提携している老人ホームで回診を行ったりもしました。

院外の研修としては、開業医の宮本内科クリニックで、地域のかかりつけ医としての機能を学び、また宮本先生に同行し訪問診療を経験しました。また縁あって、再春荘病院小児科の島津先生が行っておられる訪問診療に同行し、小児の在宅診療を学ぶ機会もありました。

大学病院で研修していた頃は、50人近くの同期に囲まれ、正直、積極性を欠いていた部分もありましたが、今回同期がいない環境で、さらに医師数も限られた中で1人の医師として扱われ、その中で徐々に医師としての自覚が芽生え責任感を抱くようになりました。もちろんそれでも、1人で解決できず頭を抱える問題に日々出くわしましたが、その際はいつでも、専門科の垣根を越えて様々な先生方が耳を傾けてくださり、助言やご指導をたくさんいただきました。

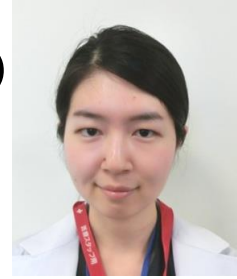
また菊池保健所で、生活保護の検討会や結核審査会などの業務にも参加させていただきました。私は、学生の時に公衆衛生学に興味があったため、踏み入れたことのない保健所での研修を楽しみにしていました。保健所の業務は、患者さんを診るわけではないところからそもそも異なりますが、病院以外で活躍する医師の姿は新鮮で、医師の業務の幅広さを知ることができた良い機会となりました。見学させて頂きました木脇保健所長を始め、菊池保健所の皆様には感謝申し上げます。

最後になりましたが、御指導いただいた先生方、親切にしてくださった看護師やクラークの方々、またその他病院関係者ならびに、今回の研修に携わっていただいたすべての方々に心よりお礼申し上げます。今回の貴重な経験を、今後の医師人生に活かして励んでいきたいと思っております。



## 地域医療研修を終えて（6月）

研修医 徳島 礼実



初期研修2年間のうち1ヶ月間設けられている地域医療研修で、福岡市より参りました研修医2年目の徳島と申します。将来は、代謝内分泌の分野、特に糖尿病を専門にできたらと考えております。地域研修の場所として選択肢は他にもたくさんありましたが、菊池郡市医師会立病院は糖尿病センターを設けられ、糖尿病診療に尽力されていると伺い、第一志望の研修先として提出いたしました。研修を受け入れていただき、ありがとうございました。

2018年6月1ヶ月間の研修でしたが、様々なことを経験させて頂きました。病院内では入院患者様の診療、健診、胃瘻の増設や交換、介護老人福祉施設への診療に携わりました。病院外では、宮本内科クリニックで小児から老人まで幅広い外来診療を経験し、保健所ではケースカンファレンスへの参加や難病疾患申請の見学をしました。産業医の先生に同行した時は、医療関係でない他の職業のことや、現場で気を付けられていることを拝見しました。いずれも大学病院の研修ではできない貴重な経験でした。様々な疾患に関して、先生方にたくさんご指導いただき、感染症や心電図、画像評価なども知識を整理し直しました。糖尿病や高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病へ腰を据えて向き合うことができたのも大きな収穫です。糖尿病カンファレンスで、退院後も見据えた栄養指導や服薬コンプライアンス、リハビリテーションの話を通じて、多職種で関わることで患者様の生活と症状や病態改善に重要であると再認識しました。

また、2016年4月に発生した熊本地震の影響も目の当たりにしました。先生方から地震発生時に院内で対応された話や、避難所でインスリンなどの配薬や透析を行うことなど困難な状況を伺いました。また患者様からも地震発生時に

いた場所の崩れ落ちてくる天井の様子などの話、現在の生活への影響も伺いました。建物や道路なども修復されてきていますが、地震のときに抱えた不安や恐怖などの感情、ストレスは今も影響を及ぼし続けていることを強く感じました。

休日は、観光や温泉に行くなどして過ごしました。梅雨の時期でしたが、幸い天気の良い日が多く、菊池溪谷を散策した際は木々の緑や水の流れが美しく癒されました。いくつか道の駅へ行ったり、建て直し中の熊本城へ行ったりと、楽しく充実した時間を過ごすことができました。「美人の湯」と言われる菊池温泉で肌がすべすべになりましたので、福岡へ帰った後も、その恩恵を少しでも長く受けられたらと願っております。

ご指導いただきました先生方、経験の浅い私が診療に関わることを快く受けてくださった患者様、お世話になりました。スタッフの皆様、本当にありがとうございました。1ヶ月間と短い期間でしたが、菊池郡市医師会立病院で研修できたことを幸せに思います。この経験を今後活かせるよう、さらに精進いたします。

末筆ではございますが、皆様の益々のご多幸、ご活躍をお祈り申し上げます。



# 新入職員紹介

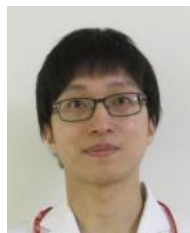
(平成30年4月～5月)



腎臓内科 医長

石田 秀太

3年ぶりの勤務です。電子カルテ導入など仕事内容が大きく変化し不慣れなこともあります。宜しくお願いします。体力維持のため、運動を増やしています。



腎臓内科 医師

丸山 功祐

菊池の医療に貢献できるように頑張ります。宜しくお願い致します。



3階病棟 看護師

山田 季弥華

私は、素直に物事を受け入れ、どんな時でも笑顔でいられるところが良いところだと思っています。この素直さと笑顔を忘れずに患者さまと関わっていきたくたいです。



3F病棟 看護師

芹川 さゆり

熊本城マラソンのAED隊や地元の大会に役員として参加し、良い刺激を受けています。今年も体力増進のため、フルマラソン完走にチャレンジしたいと思っています。



4階病棟 看護師

三嶋 清美

5月よりお世話になっています。早く職場のシステムに慣れ、貢献できるように頑張ります。宜しくお願い致します。趣味…登山、旅行など



4F病棟 看護師

早田 安莉嵯

1日も早く先輩方のように動けるように頑張ります。おすすめの日本酒があったら教えてください。



5F病棟 看護師

赤星 頌子

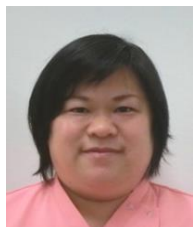
内科経験がなくご迷惑をおかけしますが、頑張りますのでよろしくお願い致します。



5階病棟 看護師

緒方 葵

笑顔の絶えない看護師を目指します。



3階病棟 准看護師

甲斐 千景

毎日覚えることがたくさんありますが、地道に頑張っていきたいと思います。宜しくお願いします。



4F病棟 准看護師

岡部 奈々

3月に准看護師の資格をとり、4月より4階病棟でお世話になっています。20数年の社会人経験も活かしながら頑張ります。



3F病棟 ケアワーカー(学生)

佐藤 見咲

以前は他の病院で看護助手として働いていました。現在は看護学校に通いながら、先輩方のご指導のもと、楽しく仕事をしています。宜しくお願い致します。

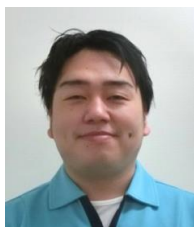


3F病棟 ケアワーカー(学生)

甲斐 颯人

初めての仕事で分からないことが沢山ありましたが、先輩や師長さんをご指導してくださるので、今は楽しく働くことができます。宜しくお願いします。





5階病棟 ケアワーカー(学生)

有働 直人

病院で働くのは初めてですが、現在看護師になる為に看護学校に通っているので、色々な事を学んでいこうと思っています。



放射線科 放射線技師

井上 祐美

放射線技師としての役割を果たすことができるように頑張ります。宜しくお願いします。



臨床工学科 臨床工学技士

田上 智基

1日でも早く仕事を覚えられるように頑張ります。宜しくお願いします。



臨床工学科 臨床工学技士

井上 果南

明るく、楽しく、笑顔で頑張ります。宜しくお願いします。



診療情報管理士

松永 明子

何事にも一所懸命、取り組んで頑張ります。宜しくお願い致します。



メディカルクラーク

津田 麻有

早く一人前のクラークになれるよう、精一杯頑張ります。



事務部 総務課

申田 裕也

持ち前の笑顔と元気とおもしろさで皆さんを笑顔にできるように頑張ります。



事務部 医事課

福永 有紗

犬と遊ぶのが大好きです。いつも笑顔で頑張ります。



臨床検査科 保健師

木原 泰代

健診を受けられた皆様のお役に立てるような保健指導を目指し頑張ります。皆様どうぞ宜しくお願い致します。



居宅介護支援事業所

岩根 京子

初めての介護支援専門員業務のため、多々お尋ねすることがあると思いますが、早く業務を覚えて皆様に受け入れてもらえるよう頑張ります。



デイケアセンター 入浴介助

中村 尚美

初めての入浴介助の仕事で、分からないことが多いですが、笑顔を絶やさないように頑張っていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。

## 編集後記

今年は4年に1度のサッカーワールドカップがロシアで開催され世界中が盛り上がっています。日本代表は、2大会ぶりに決勝トーナメント進出を決めました。とても熱狂しているところですが、季節的にも7月は梅雨が明けて夏本番になります。熱中症予防のためにも、こまめな水分摂取、汗をかいた後の塩分補給を心がけましょう。



## 菊池郡市医師会立病院 外来診療表

	午前/午後	月	火	水	木	金	土
総合内科	午前	松田 浩治 石田 隼一	沖 尚史 松田 浩治	松田 浩治		沖 尚史	松田 浩治
糖尿病センター 代謝内分泌科	午前	熊大 糖尿病代謝内科 古賀 荒太郎	豊永 哲至		豊永 哲至 熊大 糖尿病代謝内科	古賀 荒太郎	豊永 哲至
循環器内科	午前	予約	石坂 浩	古賀 敏	石坂 浩	山下 享芳 (熊大 循環器内科)	古賀 敏
		新患	古賀 敏	石坂 浩	古賀 敏	山下 享芳 (熊大 循環器内科)	石坂 浩
腎臓内科	午前				井上 秀樹 (熊大 腎臓内科)	緒方 智博	
消化器内科	午前				門野 義弘 (済生会熊本病院) または 石田 隼一	熊大 消化器外科	
神経内科	午前			井上 泰輝 (熊大 神経内科)			
整形外科	午前					徳永 琢也 (熊大 整形外科)	
放射線科 (CT・MRI)	午前/午後	本田 伸	本田 伸	本田 伸	本田 伸 上谷 浩之 (熊大 放射線科)	本田 伸	上谷 浩之 (熊大 放射線科)

当院は「紹介型の病院」です。受診に際しましては、「かかりつけ医」の「紹介状」を原則必要とします。  
ただし、救急の場合はその限りではありません。検査は予約制となります。

外来受付時間 8:00 ~ 11:30

救急患者の方につきましては、上記以外の時間にも対応しています。

## 【病院理念】

かかりつけ医の先生方と連携して、地域の皆さまに信頼され、愛される病院を目指します。

## 【基本方針】

- ・ チーム医療と地域連携に努めます
- ・ より良い医療の提供を目指し、研修・研鑽に努めます
- ・ 自己満足に陥ることなく、業務改善に努めます
- ・ 病院の健全な運営を目指します



一般社団法人 菊池郡市医師会

菊池郡市医師会立病院

〒861-1306 熊本県菊池市大琳寺75番地3

TEL:0968-25-2191 FAX:0968-24-5762 <http://www.kikuchi-hosp.com/>

発行責任者：病院長 豊永 哲至

